

簡易土壌水分計をモニター農家に設置

黒大豆は、開花してから莢が大きくなり始める頃に、干ばつなどの水分ストレスを受けると、莢着きが悪くなり減収します。農林センターでは、土壌の水分状況を簡単に測定できる簡易土壌水分計を用い、土壌の乾燥状態を把握することにより、かん水適期を判断して減収を防ぐ技術を開発しています。本年は、府内の黒大豆生産者にモニターを依頼し、使い勝手や有効性について調査し、さらなる改良を目指すこととしています。



モニター農家に簡易土壌水分計の使用法を説明